

平成 1 8 年 度

高 校 改 革 ア ン ケ ー ト
調 査 結 果 概 要

山梨県教育庁新しい学校づくり推進室

平成18年度高校改革アンケート調査の結果報告

調査の概要

1 調査の目的

県下の中学生、高校生、保護者及び中学校、高等学校の教員の高校改革等に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的とする。

2 調査内容と項目数

項目	調査内容	質問項目
中学卒業後の進路希望等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学卒業後の進路希望 (1) ・ 進学した高校の満足度 (2) ・ 現行の高校制度の満足度 (3) 	3
高校制度(高校改革)について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校進学を希望する(した)者の希望学科 (問1) ・ 高校選択の理由 (問2) ・ 新入試制度(制度全体) (問3) ・ 新入試制度(教育方針等) (問4) ・ 新入試制度(後期募集) (問5) ・ 総合学科 (問6) ・ 総合学科の系列 (問7) ・ 全日制単位制普通科高校 (問8) ・ 専門教育学科(学科の種類) (問9【1】) ・ 専門教育学科(学科数) (問9【2】) ・ 専門高校 (問10) ・ 定時制高校 (問11) ・ 中高一貫教育校 (問12) 	13
計		16

3 調査対象

6,650人(回収数:6,336人)

- | | | |
|--------------|-------------------------------------|-----------------|
| (1) 中学2年生... | 無作為に抽出した中学校(30校)の1学級の生徒全員 | 1,024人 (985人) |
| (2) 中学3年生... | 無作為に抽出した中学校(30校)の1学級の生徒全員 | 1,034人 (981人) |
| (3) 高校1年生... | 無作為に抽出した高校(23校)の1学級の生徒全員 | 857人 (845人) |
| (4) 保護者 ... | (1)~(3)の生徒の保護者 | 2,915人 (2,723人) |
| (5) 教員 ... | (1)~(2)の中学の全学年クラス担任、(3)の高校の全学年クラス担任 | 820人 (802人) |

4 調査方法

各学校を通じて実施

5 調査時期

平成18年9月~10月実施

6 回収結果

	配付数(人)	回収数(人)	回収率
中2生徒	1,024	985	96.2%
中3生徒	1,034	981	94.9%
中2保護者	1,024	953	93.1%
中3保護者	1,034	960	92.8%
中学校教員	383	365	95.3%
高1生徒	857	845	98.6%
高1保護者	857	810	94.5%
高校教員	437	437	100.0%
合計	6,650	6,336	95.3%

- ・ (1) 中学卒業後の進路希望 (中2・3生徒、その保護者が回答)
- ・ (2) 進学した高校の満足度 (高1生徒、その保護者が回答)
- ・ (3) 現行の高校制度の満足度 (中2・3・高1生徒の保護者、教員が回答)
- ・ (問3)～(問5) 新入試制度 (中2・3生徒、その保護者が回答)
- ・ 上記以外 (全ての調査対象者が回答)

参考 (1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。

(2) 各設問を全体の傾向、調査対象者別、地域別、学科別に分析した。

全体の傾向...その設問に回答した全対象者を分析

調査対象者別...その設問に回答した調査対象者ごとに分析

地域別...中学生、中学保護者、中学教員が在籍する中学校の所在地域ごとに分析

学科別...高校生、高校保護者、高校教員が在籍する高校の学科ごとに分析

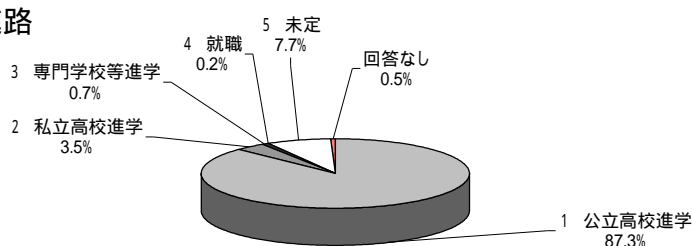
調査結果

(1) 中学生とその保護者の方にお聞きします。中学卒業後の進路は決めていますか。
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 公立高校進学 2 私立高校進学 3 高校以外の専門学校等進学
4 就職 5 未定

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 公立高校進学	747	75.8%	906	92.4%	1,653	84.1%	847	88.9%	885	92.2%	1,732	90.5%	3,385	87.3%
2 私立高校進学	37	3.8%	38	3.9%	75	3.8%	21	2.2%	41	4.3%	62	3.2%	137	3.5%
3 専門学校等進学	13	1.3%	6	0.6%	19	1.0%	4	0.4%	6	0.6%	10	0.5%	29	0.7%
4 就職	4	0.4%	2	0.2%	6	0.3%	1	0.1%	2	0.2%	3	0.2%	9	0.2%
5 未定	178	18.1%	22	2.2%	200	10.2%	78	8.2%	22	2.3%	100	5.2%	300	7.7%
回答なし	6	0.6%	7	0.7%	13	0.7%	2	0.2%	4	0.4%	6	0.3%	19	0.5%
計	985		981		1,966		953		960		1,913		3,879	

中学卒業後の進路



【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、中学卒業後の進路について尋ねた。

全体の傾向

「公立高校進学」と回答した比率が最も高い87.3%、以下、「私立高校進学」3.5%、「高校以外の専門学校等進学」0.7%、「就職」0.2%の順である。

調査対象者別

・中3生徒についてみると、同時期に行われた『進路希望調査』よりも、「公立高校進学」の比率が高い。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職	未定・回答なし	調査対象者
高校改革アンケート	92.4%(906人)	3.9%(38人)	0.6%(6人)	0.2%(2人)	2.9%(29人)	981人
進路希望調査(9/20)	88.7%(8,222人)	8.4%(783人)	1.7%(158人)	0.3%(30人)	0.8%(76人)	9,269人

・中2生徒についてみると、「未定」「回答なし」の比率が高くなっている。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職	未定・回答なし	計
比率	75.8%(747人)	3.8%(37人)	1.3%(13人)	0.4%(4人)	18.7%(184人)	985人

地域別(資料編 p.1参照)

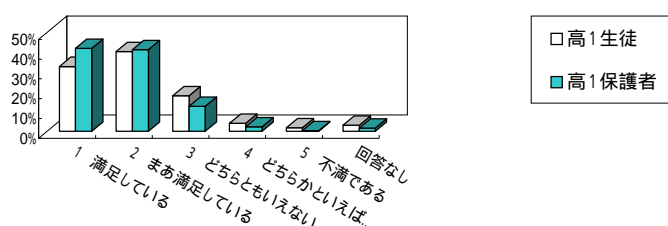
・中3生徒についてみると、「公立高校進学」と回答した比率が最も高い地域は峡南97.3%であり、以下、峡東92.7%、峡中92.1%、南都留92.1%、北都留92.0%、峡北89.8%の順である。

(2) 高校生とその保護者の方にお聞きます。進学した高校の学科(コース)について、どの程度満足していますか。(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 満足している 2 まあ満足している 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば不満である 5 不満である

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 満足している	277	32.8%	340	42.0%	617	37.3%
2 まあ満足している	341	40.4%	335	41.4%	676	40.8%
3 どちらともいえない	152	18.0%	102	12.6%	254	15.3%
4 どちらかといえば不満である	34	4.0%	18	2.2%	52	3.1%
5 不満である	15	1.8%	2	0.2%	17	1.0%
回答なし	26	3.1%	13	1.6%	39	2.4%
計	845		810		1,655	

入学した高校の満足度



【今回の調査結果】

高1生徒とその保護者に、在学している高校に対する満足度を尋ねた。

全体の傾向

- ・「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は78.1%、「不満である」「どちらかといえば不満である」4.1%、「どちらともいえない」15.3%である。

調査対象者別

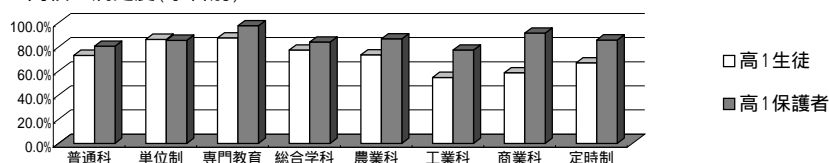
- ・「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は高1生徒73.2%、高1保護者83.4%、「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した比率は高1生徒5.8%、高1保護者2.4%であり、生徒より保護者の方が満足度が高い。

学科別(資料編 p.2参照)

- ・学科別でみると、「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は、単位制普通科以外の学科において、生徒より保護者の方が高くなっている。
- ・「満足している」「まあ満足している」と回答した比率を学科別に表すと、以下のとおりである。

	普通科	単位制	専門教育	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制
高1生徒	72.9%	86.2%	87.5%	77.3%	73.4%	54.6%	58.5%	66.7%
高1保護者	80.5%	85.4%	97.5%	84.0%	86.7%	77.4%	91.4%	85.7%

入学した高校の満足度(学科別)

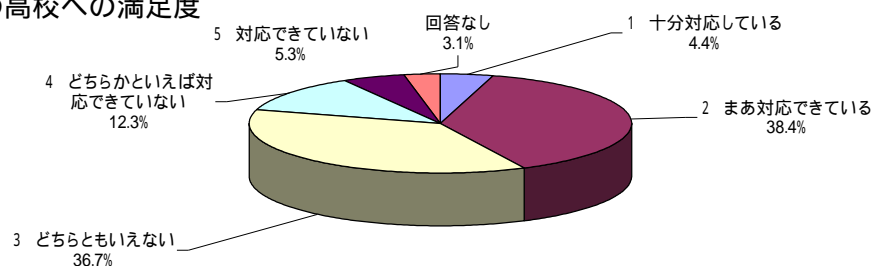


(3) すべての保護者と教員の方にお聞きします。現在の山梨県の高校の種類や数などは、生徒の多様な進路選択ニーズにどの程度対応できていると考えますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 十分対応している 2 まあ対応できている 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば対応できていない 5 対応できていない

選択肢	中2保護者		中3保護者		高1保護者		中学教員		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 十分対応している	26	2.7%	33	3.4%	35	4.3%	16	4.4%	44	10.1%	154	4.4%
2 まあ対応できている	295	31.0%	314	32.7%	321	39.6%	188	51.5%	234	53.5%	1,352	38.4%
3 どちらともいえない	408	42.8%	416	43.3%	277	34.2%	92	25.2%	100	22.9%	1,293	36.7%
4 どちらかといえば対応できていない	141	14.8%	121	12.6%	98	12.1%	38	10.4%	34	7.8%	432	12.3%
5 対応できていない	63	6.6%	56	5.8%	49	6.0%	6	1.6%	12	2.7%	186	5.3%
回答なし	20	2.1%	20	2.1%	30	3.7%	25	6.8%	13	3.0%	108	3.1%
計	953		960		810		365		437		3,525	

現行の高校への満足度



【今回の調査結果】

中2・3・高1生徒の保護者及び教員に、現行の高校制度の満足度について尋ねた。

全体の傾向

・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率は42.8%、「対応できていない」「どちらかといえば対応できていない」17.6%、「どちらともいえない」36.7%である。

調査対象者別

・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い調査対象者は高校教員63.6%であり、以下、中学教員55.9%、高1保護者43.9%、中3保護者36.1%、中2保護者33.7%の順である。

地域別(資料編 p.3参照)

- ・ 中学生保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い地域は峡北43.8%であり、以下、峡南41.3%、南都留37.6%、峡中34.3%、峡東32.6%、北都留25.9%の順である。
- ・ 同様に中学教員についてみると、南都留61.4%、峡東60.3%、北都留58.6%、峡中55.0%、峡北48.8%、峡南35.7%の順である。

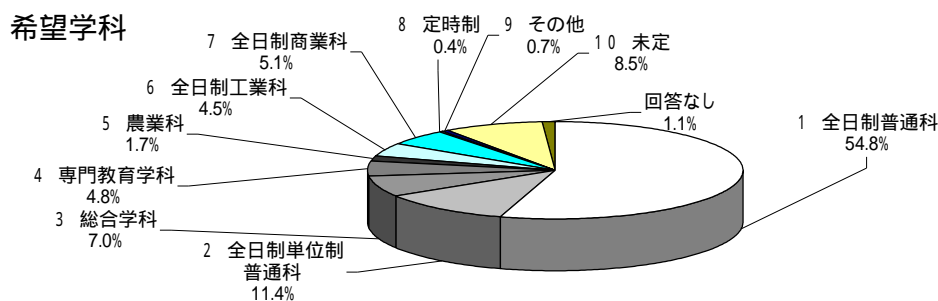
学科別(資料編 p.3参照)

- ・ 高1保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い学科は単位制普通高校53.5%であり、以下、工業科50.0%、専門教育学科45.0%、商業科44.3%、普通科41.4%、総合学科41.4%、農業科36.7%の順である。
- ・ 同様に高校教員についてみると、専門教育学科83.4%、普通科68.3%、定時制68.1%、単位制普通科65.1%、総合学科61.5%、工業科56.6%、商業科43.6%の順である。

問1 中学生、高校生とその保護者の方にお聞きます。次のどの学科に進学を希望していますか。(希望しましたか。)(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 全日制普通科(コースを含む) 2 全日制単位制普通科 3 総合学科
 4 専門教育学科(理数科・英語科等) 5 農業科 6 全日制工業科
 7 全日制商業科 8 定時制 9 その他() 10 未定

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 全日制普通科	454	46.1%	548	55.9%	607	63.7%	603	62.8%	399	47.2%	421	52.0%	3,032	54.8%
2 全日制単位制普通科	89	9.0%	137	14.0%	76	8.0%	100	10.4%	111	13.1%	119	14.7%	632	11.4%
3 総合学科	55	5.6%	67	6.8%	54	5.7%	67	7.0%	75	8.9%	68	8.4%	386	7.0%
4 専門教育学科	44	4.5%	54	5.5%	33	3.5%	42	4.4%	48	5.7%	47	5.8%	268	4.8%
5 農業科	10	1.0%	20	2.0%	3	0.3%	13	1.4%	26	3.1%	24	3.0%	96	1.7%
6 全日制工業科	35	3.6%	54	5.5%	31	3.3%	48	5.0%	48	5.7%	35	4.3%	251	4.5%
7 全日制商業科	22	2.2%	62	6.3%	23	2.4%	54	5.6%	60	7.1%	59	7.3%	280	5.1%
8 定時制	5	0.5%	2	0.2%	2	0.2%	5	0.5%	5	0.6%	1	0.1%	20	0.4%
9 その他	20	2.0%	4	0.4%	7	0.7%	1	0.1%	1	0.1%	4	0.5%	37	0.7%
10 未定	245	24.9%	25	2.5%	105	11.0%	20	2.1%	54	6.4%	22	2.7%	471	8.5%
回答なし	6	0.6%	8	0.8%	12	1.3%	7	0.7%	18	2.1%	10	1.2%	61	1.1%
計	985		981		953		960		845		810		5,534	



【今回の調査結果】

中2・3・高1生徒とその保護者に、どの学科に進学を希望する(希望した)か尋ねた。

全体の傾向

・「全日制普通科」と回答した比率は54.8%であり、「単位制普通科」11.4%、「専門教育学科」4.8%と合わせると、全体の7割が普通科系の学科を希望している。

調査対象者別

・「全日制普通科」と回答した比率は中2生徒46.1%、中3生徒55.9%、中2保護者63.7%、中3保護者62.8%、高1生徒47.2%、高1保護者52.0%であり、生徒より保護者の比率が高くなっている。

地域別(資料編 p.4参照)

・中学生についてみると、「全日制普通科」と回答した比率が最も高い地域は峡南56.0%、次いで南都留53.7%である。また、「単位制普通科」と回答した比率が最も高い地域は北都留22.8%、次いで峡東15.5%である。

学科別(資料編 p.5参照)

・実際に進学した学科が希望した学科であった場合の比率をみると、平成18年度入試においては高1生徒、高1保護者の希望した学科へ8割以上が進学している。

希望した学科と在籍している学科の一致する割合

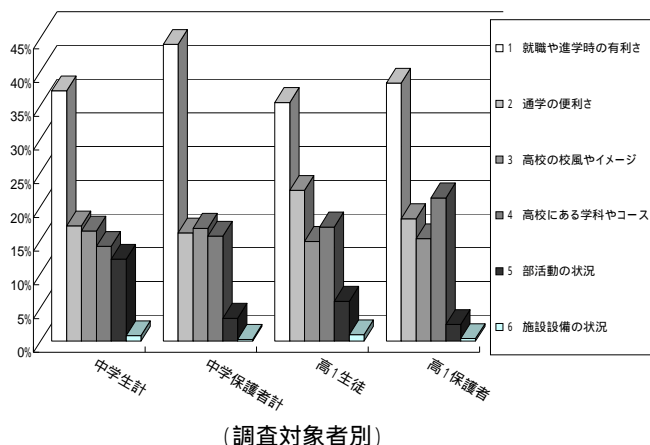
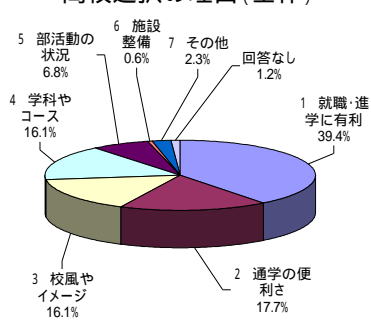
	普通科	単位制	専門教育	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	全体
高1生徒	85.3%	84.5%	92.5%	85.3%	86.7%	66.7%	82.9%	33.3%	83.2%
高1保護者	90.5%	89.7%	75.0%	74.7%	73.3%	56.5%	80.0%	14.3%	83.3%

問2 中学生、高校生とその保護者の方にお聞きます。高校を選ぶとき、何に重きを置きますか。
(置きましたか。) (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 就職や進学時の有利さ 2 通学の便利さ 3 高校の校風やイメージ
4 高校にある学科やコース 5 部活動の状況 6 施設整備の状況
7 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		中学保護者計		高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 就職や進学時の有利さ	381	38.7%	349	35.6%	730	37.1%	453	47.5%	389	40.5%	842	44.0%	299	35.4%	310	38.3%	2,181	39.4%
2 通学の便利さ	185	18.8%	151	15.4%	336	17.1%	141	14.8%	166	17.3%	307	16.0%	189	22.4%	147	18.1%	979	17.7%
3 高校の校風やイメージ	115	11.7%	206	21.0%	321	16.3%	137	14.4%	183	19.1%	320	16.7%	125	14.8%	123	15.2%	889	16.1%
4 高校にある学科やコース	137	13.9%	139	14.2%	276	14.0%	159	16.7%	139	14.5%	298	15.6%	143	16.9%	172	21.2%	889	16.1%
5 部活動の状況	131	13.3%	108	11.0%	239	12.2%	21	2.2%	44	4.6%	65	3.4%	50	5.9%	20	2.5%	374	6.8%
6 施設整備の状況	10	1.0%	6	0.6%	16	0.8%	3	0.3%	2	0.2%	5	0.3%	8	0.9%	3	0.4%	32	0.6%
7 その他	17	1.7%	13	1.3%	30	1.5%	25	2.6%	26	2.7%	51	2.7%	17	2.0%	28	3.5%	126	2.3%
回答なし	9	0.9%	9	0.9%	18	0.9%	14	1.5%	11	1.1%	25	1.3%	14	1.7%	7	0.9%	64	1.2%
計	985		981		1,966		953		960		1,913		845		810		5,534	

高校選択の理由(全体)



【今回の調査結果】

中2・3・高1生徒とその保護者に、高校を選択する際、何に重きを置くか尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「就職や進学時の有利さ」と回答した比率が最も高く39.4%であり、以下、「通学の便利さ」17.7%、「高校の校風やイメージ」16.1%、「高校にある学科やコース」16.1%の順である。

調査対象者別

- ・ 全ての調査対象者で「就職や進学時の有利さ」と回答した比率が最も高く、生徒よりも保護者の方が高校選択時に、就職や進学を重要視している傾向がある。
- ・ 中学生においては「部活動の状況」と回答した比率が、他の調査対象者よりも高くなっている。

地域別(資料編 p.6参照)

- ・ 中学生とその保護者についてみると、峡南及び北都留においては、「通学の便利さ」と回答した比率が高くなっている。

学科別(資料編 p.6～7参照)

- ・ 高1生徒についてみると、専門教育学科、総合学科及び農業科において「高校にある学科やコース」と回答した比率が最も高い。単位制普通科、工業科、商業科では「就職や進学時の有利さ」が、定時制では「校風やイメージ」と回答した比率が高くなっている。

普通科では、その他の学科に比べて、「通学の便利さ」と回答した比率が高くなっている。

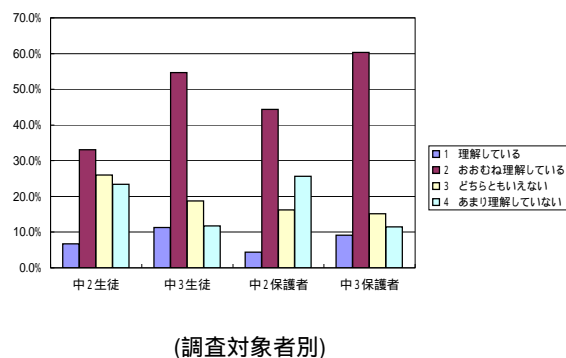
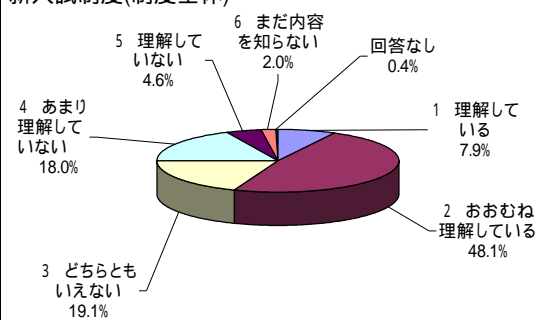
【新入試制度】(制度全体)

問3 平成19年度入試から入学者選抜制度が改善されますが、入試制度について理解していますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 理解している | 2 おおむね理解している |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり理解していない |
| 5 理解していない | 6 まだ内容を知らない |

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 理解している	66	6.7%	111	11.3%	177	9.0%	42	4.4%	88	9.2%	130	6.8%	307	7.9%
2 おおむね理解している	326	33.1%	536	54.6%	862	43.8%	423	44.4%	579	60.3%	1,002	52.4%	1,864	48.1%
3 どちらともいえない	256	26.0%	184	18.8%	440	22.4%	155	16.3%	145	15.1%	300	15.7%	740	19.1%
4 あまり理解していない	230	23.4%	115	11.7%	345	17.5%	244	25.6%	110	11.5%	354	18.5%	699	18.0%
5 理解していない	69	7.0%	25	2.5%	94	4.8%	62	6.5%	22	2.3%	84	4.4%	178	4.6%
6 まだ内容を知らない	36	3.7%	7	0.7%	43	2.2%	24	2.5%	10	1.0%	34	1.8%	77	2.0%
回答なし	2	0.2%	3	0.3%	5	0.3%	3	0.3%	6	0.6%	9	0.5%	14	0.4%
計	985		981		1,966		953		960		1,913		3,879	

新入試制度(制度全体)



【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、新入試制度の内容を理解しているかを尋ねた。

全体の傾向

・「理解している」「おおむね理解している」と回答した比率は56.0%、「あまり理解していない」「理解していない」22.6%、「どちらともいえない」19.1%である。

調査対象者別

・中3生徒の7割近くは新入試制度の内容を、「理解している」「おおむね理解している」と回答しているが、中2生徒についてみると、「あまり理解していない」23.4%、「どちらともいえない」26.0%となっている。

地域別(資料編 p.8参照)

・北都留の中学生、中学生保護者においては、「あまり理解していない」と回答した比率が高い傾向にある。

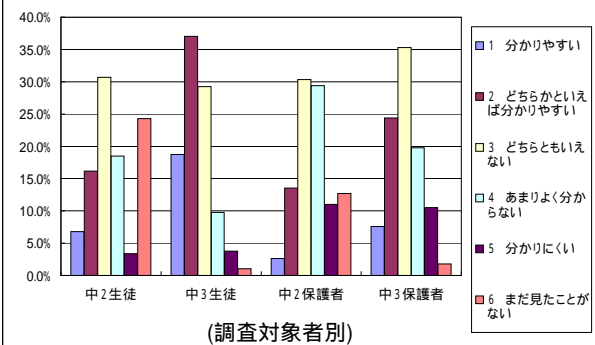
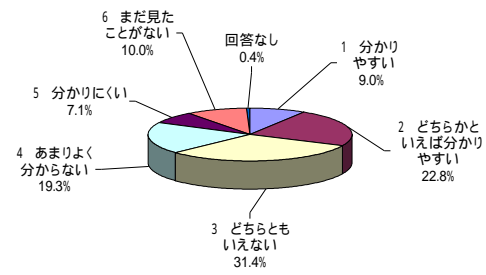
【新入試制度】(教育方針等)

問4 各高校が示した「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思いますか。(つぎの中から1つ選んでください。)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 分かりやすい | 2 どちらかといえば分かりやすい |
| 3 どちらともいえない | 4 あまりよく分からない |
| 5 分かりにくい | 6 まだ見たことがない |

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 分かりやすい	67	6.8%	184	18.8%	251	12.8%	25	2.6%	73	7.6%	98	5.1%	349	9.0%
2 どちらかといえば分かりやすい	159	16.1%	363	37.0%	522	26.6%	129	13.5%	234	24.4%	363	19.0%	885	22.8%
3 どちらともいえない	302	30.7%	287	29.3%	589	30.0%	289	30.3%	339	35.3%	628	32.8%	1,217	31.4%
4 あまりよく分からない	182	18.5%	96	9.8%	278	14.1%	280	29.4%	190	19.8%	470	24.6%	748	19.3%
5 分かりにくい	33	3.4%	37	3.8%	70	3.6%	105	11.0%	101	10.5%	206	10.8%	276	7.1%
6 まだ見たことがない	239	24.3%	10	1.0%	249	12.7%	121	12.7%	17	1.8%	138	7.2%	387	10.0%
回答なし	3	0.3%	4	0.4%	7	0.4%	4	0.4%	6	0.6%	10	0.5%	17	0.4%
計	985		981		1,966		953		960		1,913		3,879	

新入試制度(教育方針等)



【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、各高校が示した教育方針等の内容を理解しているかを尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「分かりやすい」「どちらかといえば分かりやすい」と回答した比率は31.8%、「あまりよく分からない」「分かりにくい」26.4%、「どちらともいえない」31.4%である。

調査対象者別

- ・ 中学2生徒、中2保護者についてみると、「まだ見たことがない」と回答した比率が高い傾向にある。

地域別(資料編 p.10参照)

- ・ 北都留の中学生、中学生保護者においては、「まだ見たことがない」と回答した比率が高い傾向にある。

【新入試制度】(後期募集)

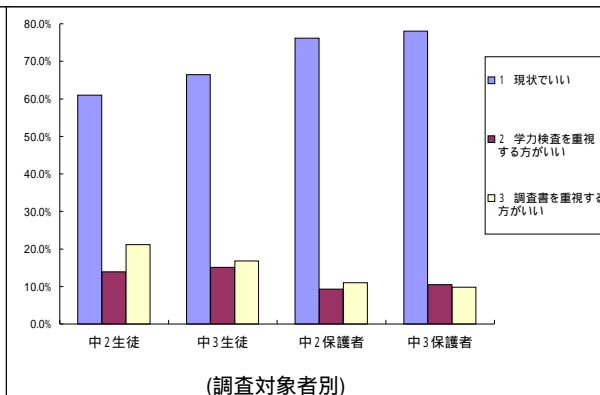
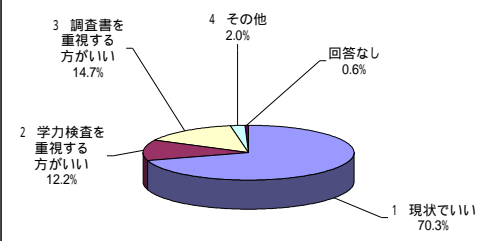
問5 後期募集における学力検査と調査書の扱いについてどう考えますか。

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状でいい
- 2 学力検査を重視する方がいい
- 3 調査書を重視する方がいい
- 4 その他

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状でいい	601	61.0%	652	66.5%	1,253	63.7%	726	76.2%	749	78.0%	1,475	77.1%	2,728	70.3%
2 学力検査を重視する方がいい	137	13.9%	148	15.1%	285	14.5%	89	9.3%	101	10.5%	190	9.9%	475	12.2%
3 調査書を重視する方がいい	208	21.1%	165	16.8%	373	19.0%	105	11.0%	94	9.8%	199	10.4%	572	14.7%
4 その他	34	3.5%	8	0.8%	42	2.1%	27	2.8%	10	1.0%	37	1.9%	79	2.0%
回答なし	5	0.5%	8	0.8%	13	0.7%	6	0.6%	6	0.6%	12	0.6%	25	0.6%
計	985		981		1,966		953		960		1,913		3,879	

新入試制度(後期募集)



【今回の調査結果】

中2・3生徒とその保護者に、後期募集における学力検査と調査書の扱いについて尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状でいい」と回答した比率は70.3%、「調査書を重視する方がいい」14.7%、「学力検査を重視する方がいい」12.2%である。

調査対象者別

- ・ 中学生についてみると、「調査書を重視する方がいい」と回答した比率が、「学力を重視する方がいい」と回答した比率を上回っている。
- ・ 中学生よりも保護者の方が「現状でいい」と回答した比率が高い傾向がある。

地域別(資料編 p.12参照)

- ・ 峡南の中学生においては、「現状のままでいい」と回答した比率が他の地域よりも高い傾向にある。

【総合学科】

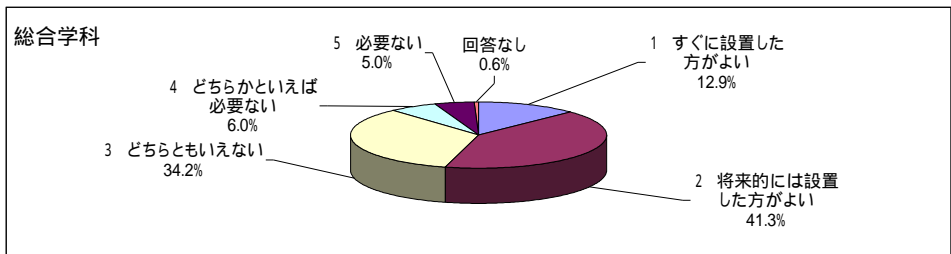
問6 本県には、普通科目(国語、数学、英語など)から専門科目(農業、工業、情報ビジネス、福祉など)まで、幅広い科目の中から自ら選択して学ぶことのできる「総合学科高校」として甲府城西高校、北杜高校及び富士北稜高校があります。

今後も、総合学科高校は、県内に順次設置していくこととしています。現在、未設置となっている峡東・峡西南ブロックに総合学科高校を設置することについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	126	12.8%	97	9.9%	192	20.1%	139	14.5%	32	8.8%	75	8.9%	125	15.4%	32	7.3%	818	12.9%
2 将来的には設置した方がよい	322	32.7%	389	39.7%	416	43.7%	470	49.0%	174	47.7%	342	40.5%	387	47.8%	116	26.5%	2,616	41.3%
3 どちらともいえない	462	46.9%	418	42.6%	270	28.3%	265	27.6%	91	24.9%	343	40.6%	208	25.7%	112	25.6%	2,169	34.2%
4 どちらかといえば必要ない	32	3.2%	38	3.9%	45	4.7%	40	4.2%	50	13.7%	35	4.1%	53	6.5%	88	20.1%	381	6.0%
5 必要ない	38	3.9%	34	3.5%	22	2.3%	39	4.1%	16	4.4%	44	5.2%	34	4.2%	89	20.4%	316	5.0%
回答なし	5	0.5%	5	0.5%	8	0.8%	7	0.7%	2	0.5%	6	0.7%	3	0.4%	0	0.0%	36	0.6%
計	985		981		953		960		365		845		810		437		6,336	



【今回の調査結果】

今後、未設置地域に順次設置していくこととしている総合学科高校の必要性について尋ねた。

全体の傾向

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は54.2%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」11.0%、「どちらともいえない」34.2%である。

調査対象者別

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒45.5%、中3生徒49.6%、中2保護者63.8%、中3保護者63.5%であり、生徒より保護者の方が高くなっている。

地域別(資料編 p.13～14参照)

・中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は峡北59.9%であり、以下、峡東51.6%、峡中47.2%、南都留44.8%、峡南41.8%、北都留37.1%の順である。
・同様に中学保護者についてみると、峡北75.5%、峡東70.6%、峡中61.8%、南都留61.6%、北都留57.2%、峡南50.9%の順である。
・同様に中学教員についてみると、峡北69.2%、峡中63.3%、北都留51.7%、南都留50.9%、峡東47.1%、峡南21.4%の順である。

学科別(資料編 p.14～15参照)

・「総合学科」に在籍する高1生徒とその保護者についてみると「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、高1保護者76.0%、高1生徒61.3%であり他学科よりも高くなっている。

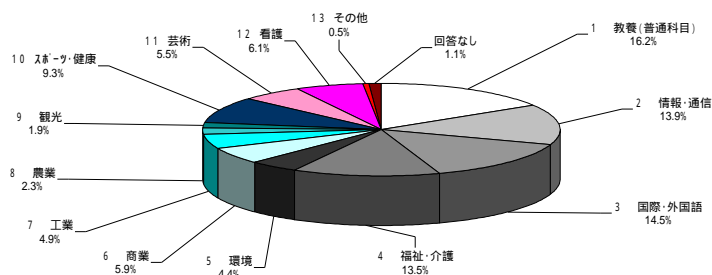
【総合学科の系列】

問7 総合学科高校では、いろいろな科目を用意して、その中から将来の進路などに合わせて科目を選択し、各自の時間割を作成して学習していきます。その時、どんな分野に属する科目があればよいと考えますか。(つぎの中から3つ選んで下さい。)

- | | | | |
|------------|------------|----------|---------|
| 1 教養(普通科目) | 2 情報・通信 | 3 国際・外国語 | 4 福祉・介護 |
| 5 環境 | 6 商業 | 7 工業 | 8 農業 |
| 9 観光 | 10 スポーツ・健康 | 11 芸術 | 12 看護 |
| 13 その他() | | | |

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 教養(普通科目)	581	19.7%	540	18.3%	426	14.9%	420	14.6%	137	12.5%	444	17.5%	357	14.7%	179	13.7%	3,084	16.2%
2 情報・通信	241	8.2%	374	12.7%	470	16.4%	476	16.5%	185	16.9%	337	13.3%	394	16.2%	172	13.1%	2,649	13.9%
3 国際・外国語	379	12.8%	428	14.5%	496	17.3%	462	16.0%	108	9.9%	389	15.3%	407	16.7%	92	7.0%	2,761	14.5%
4 福祉・介護	225	7.6%	252	8.6%	466	16.3%	514	17.8%	225	20.5%	270	10.7%	405	16.7%	201	15.3%	2,558	13.5%
5 環境	161	5.4%	115	3.9%	130	4.5%	118	4.1%	58	5.3%	81	3.2%	114	4.7%	61	4.7%	838	4.4%
6 商業	213	7.2%	239	8.1%	107	3.7%	106	3.7%	55	5.0%	182	7.2%	109	4.5%	105	8.0%	1,116	5.9%
7 工業	185	6.3%	197	6.7%	83	2.9%	91	3.2%	55	5.0%	128	5.0%	76	3.1%	107	8.2%	922	4.9%
8 農業	78	2.6%	50	1.7%	54	1.9%	42	1.5%	50	4.6%	43	1.7%	43	1.8%	74	5.6%	434	2.3%
9 観光	63	2.1%	49	1.7%	39	1.4%	36	1.3%	27	2.5%	69	2.7%	42	1.7%	36	2.7%	361	1.9%
10 スポーツ・健康	443	15.0%	363	12.3%	225	7.9%	192	6.7%	71	6.5%	226	8.9%	131	5.4%	124	9.5%	1,775	9.3%
11 芸術	177	6.0%	137	4.7%	153	5.4%	157	5.5%	62	5.7%	159	6.3%	134	5.5%	59	4.5%	1,038	5.5%
12 看護	161	5.4%	165	5.6%	159	5.6%	200	6.9%	57	5.2%	179	7.1%	173	7.1%	62	4.7%	1,156	6.1%
13 その他	21	0.7%	16	0.5%	13	0.5%	12	0.4%	3	0.3%	14	0.6%	15	0.6%	9	0.7%	103	0.5%
回答なし	27	0.9%	18	0.6%	38	1.3%	54	1.9%	2	0.2%	14	0.6%	30	1.2%	30	2.3%	213	1.1%
計	2,955		2,943		2,859		2,880		1,095		2,535		2,430		1,311		19,008	

総合学科の系列



【今回の調査結果】

総合学科に設置を希望する科目群について尋ねた。

全体の傾向

- ・「教養(普通科目)」16.2%、「国際・外国語」14.5%、「情報・通信」13.9%、「福祉・介護」13.5%である。

調査対象者別(資料編 p.15 ~ 16参照)

- ・中学生についてみると、「教養(普通科目)」19.0%、「国際・外国語」13.7%、「スポーツ・健康」13.7%である。
- ・中学保護者についてみると、「福祉・介護」17.1%、「国際・外国語」16.7%、「情報・通信」16.5%である。
- ・中学教員についてみると、「福祉・介護」20.5%、「情報・通信」16.9%、「教養(普通科目)」12.5%である。
- ・高校教員についてみると、「福祉・介護」15.3%、「教養(普通科目)」13.7%、「情報・通信」13.1%である。

地域別(資料編 p.15 ~ 17参照)

- ・調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.17 ~ 18)

- ・専門教育学科においては「情報・通信」、総合学科においては「商業」と回答した比率が高くなっている。

【全日制単位制普通科高校】

問8 県立高校のうち、1学年・2学年などの学年の区分がなく、自分に適した教科・科目を選択、学習し、決められた単位数を修得すれば卒業が認められる「全日制単位制普通科高校」として、甲府西高校、日川高校、都留高校の3校があります。

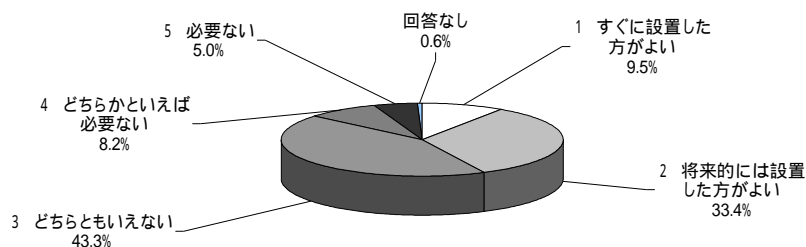
今後も全日制単位制普通科高校を設置していくことについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	113	11.5%	94	9.6%	120	12.6%	77	8.0%	24	6.6%	77	9.1%	75	9.3%	20	4.6%	600	9.5%
2 将来的には設置した方がよい	304	30.9%	368	37.5%	340	35.7%	358	37.3%	114	31.2%	260	30.8%	291	35.9%	84	19.2%	2,119	33.4%
3 どちらともいえない	459	46.6%	465	47.4%	385	40.4%	402	41.9%	142	38.9%	417	49.3%	347	42.8%	127	29.1%	2,744	43.3%
4 どちらかといえば必要ない	56	5.7%	37	3.8%	77	8.1%	66	6.9%	57	15.6%	50	5.9%	64	7.9%	111	25.4%	518	8.2%
5 必要ない	47	4.8%	12	1.2%	25	2.6%	46	4.8%	28	7.7%	37	4.4%	26	3.2%	93	21.3%	314	5.0%
回答なし	6	0.6%	5	0.5%	6	0.6%	11	1.1%	0	0.0%	4	0.5%	7	0.9%	2	0.5%	41	0.6%
計	985		981		953		960		365		845		810		437		6,336	

全日制単位制普通科高校



【今回の調査結果】

全日制単位制普通科高校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は42.9%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」13.2%、「どちらともいえない」43.3%である。

調査対象者別

・「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒42.4%、中3生徒47.1%、中2保護者48.3%、中3保護者45.3%であり、他の調査対象者より高くなっている。

地域別(資料編 p.20参照)

・中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は峡東47.8%であり、以下、峡中46.1%、峡南44.0%、峡北43.7%、北都留41.1%、南都留40.3%の順である。
・同様に中学保護者についてみると、峡東54.6%、峡北49.0%、峡中46.6%、南都留44.0%、北都留41.3%、峡南36.8%の順である。
・同様に中学教員についてみると、峡南50.0%、峡東47.1%、峡北46.1%、南都留38.6%、峡中33.5%、北都留20.7%の順である。

学科別(資料編 p.19～20参照)

・「全日制単位制普通科」に在籍する高校生とその保護者についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は高1生徒51.7%、高1保護者52.6%と、他の調査対象者よりも高くなっている。

【専門教育学科】(学科の種類)

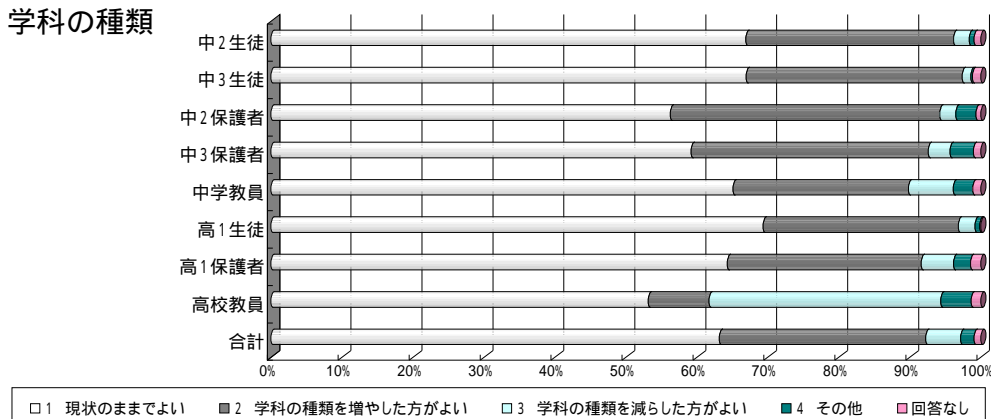
問9 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(1) 学科の種類について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科の種類を増やした方がよい
- 3 学科の種類を減らした方がよい
- 4 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	621	63.0%	698	71.2%	524	55.0%	590	61.5%	255	69.9%	588	69.6%	538	66.4%	257	58.8%	4,071	64.3%
2 学科の種類を増やした方がよい	278	28.2%	261	26.6%	367	38.5%	299	31.1%	76	20.8%	229	27.1%	232	28.6%	38	8.7%	1,780	28.1%
3 学科の種類を減らした方がよい	63	6.4%	8	0.8%	21	2.2%	29	3.0%	24	6.6%	17	2.0%	17	2.1%	121	27.7%	300	4.7%
4 その他	18	1.8%	6	0.6%	30	3.1%	33	3.4%	10	2.7%	6	0.7%	17	2.1%	21	4.8%	141	2.2%
回答なし	5	0.5%	8	0.8%	11	1.2%	9	0.9%	0	0.0%	5	0.6%	6	0.7%	0	0.0%	44	0.7%
計	985		981		953		960		365		845		810		437		6,336	

学科の種類



【今回の調査結果】

専門教育学科の種類について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率は64.3%、「学科の種類を増やした方がよい」28.1%である。

調査対象者別

- ・ 高校教員についてみると、「学科の種類を減らした方がよい」と回答した比率が27.7%と、他の調査対象者と比べて高い傾向にある。

地域別(資料編 p.21参照)

- ・ 峡南及び峡北の中学校教員について、「学科の種類を増やした方がよい」と回答した比率が、他地域に比べて高い。

学科別(資料編 p.21～22)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で学科別の大きな差異は見られない。

【専門教育学科】(学科数)

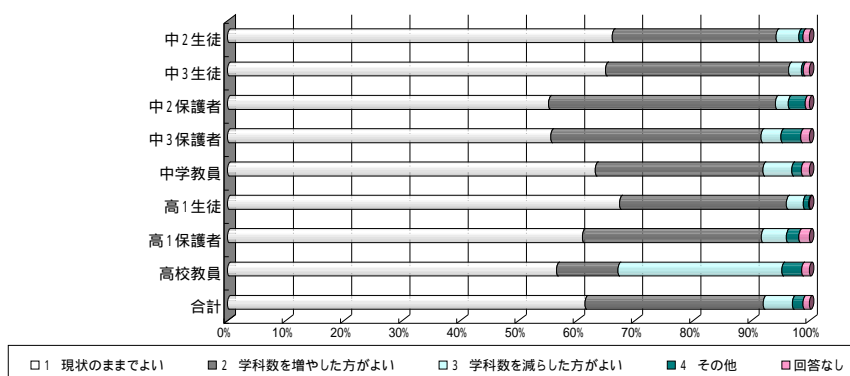
問9 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(2) 学科数について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科数を増やした方がよい
- 3 学科数を減らした方がよい
- 4 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	607	61.6%	666	67.9%	482	50.6%	560	58.3%	229	62.7%	568	67.2%	491	60.6%	261	59.7%	3,864	61.0%
2 学科数を増やした方がよい	289	29.3%	285	29.1%	393	41.2%	317	33.0%	104	28.5%	244	28.9%	277	34.2%	39	8.9%	1,948	30.7%
3 学科数を減らした方がよい	63	6.4%	16	1.6%	32	3.4%	30	3.1%	25	6.8%	21	2.5%	18	2.2%	118	27.0%	323	5.1%
4 その他	16	1.6%	7	0.7%	28	2.9%	29	3.0%	5	1.4%	6	0.7%	15	1.9%	17	3.9%	123	1.9%
回答なし	10	1.0%	7	0.7%	18	1.9%	24	2.5%	2	0.5%	6	0.7%	9	1.1%	2	0.5%	78	1.2%
計	985		981		953		960		365		845		810		437		6,336	

学科数



【今回の調査結果】

専門教育学科の学科数について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率は61.0%、「学科数を増やした方がよい」30.7%である。

調査対象者別

- ・ 高校教員についてみると、「学科数を減らした方がよい」と回答した比率が27.0%と、他の調査対象者と比べて高い傾向にある。

地域別(資料編 p.23参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.23～24)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で学科別の大きな差異は見られない。

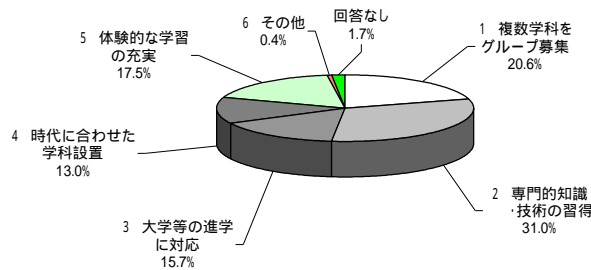
【専門高校】

問10 農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校の教育に、どのようなことを期待しますか。
(つぎの中から2つを選んでください。)

- 1 1年入学の段階で学科に分けず、共通に基礎的科目を勉強した後に、学科を選べるようにする
- 2 資格取得に必要な学習を行うなど、専門的な知識や技術を身につけた職業人を育成する
- 3 高校で学んだ知識や技術をさらに深めるため、大学等の進学に対応できる国語・数学や英語の教育を充実する
- 4 社会の変化に合わせて、設置学科を時代に合ったものに変える
- 5 実験や実習、企業での研修など、体験的な学習を充実する
- 6 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 複数学科をグループ募集	440	22.3%	392	20.0%	422	22.1%	422	22.0%	167	22.9%	311	18.4%	314	19.4%	146	16.7%	2,614	20.6%
2 専門的知識・技術の習得	556	28.2%	653	33.3%	537	28.2%	554	28.9%	258	35.3%	574	34.0%	487	30.1%	313	35.8%	3,932	31.0%
3 大学等の進学に対応	304	15.4%	292	14.9%	341	17.9%	345	18.0%	72	9.9%	256	15.1%	290	17.9%	93	10.6%	1,993	15.7%
4 時代に合わせた学科設置	206	10.5%	235	12.0%	303	15.9%	289	15.1%	72	9.9%	200	11.8%	232	14.3%	112	12.8%	1,649	13.0%
5 体験的な学習の充実	411	20.9%	364	18.6%	252	13.2%	241	12.6%	157	21.5%	325	19.2%	265	16.4%	201	23.0%	2,216	17.5%
6 その他	21	1.1%	2	0.1%	9	0.5%	7	0.4%	1	0.1%	4	0.2%	6	0.4%	2	0.2%	52	0.4%
回答なし	32	1.6%	24	1.2%	42	2.2%	62	3.2%	3	0.4%	20	1.2%	26	1.6%	7	0.8%	216	1.7%
計	1,970		1,962		1,906		1,920		730		1,690		1,620		874		12,672	

専門高校



【今回の調査結果】

農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校に何を期待しているかを尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「専門的知識・技術の習得」と回答した比率が最も高く31.0%であり、以下、「複数学科をグループ募集」20.6%、「体験的な学習の充実」17.5%、「大学等の進学に対応」15.7%、「時代に合わせた学科設置」13.0%の順である。

調査対象者別

- ・ 中学教員、高校教員についてみると、「専門的知識・技術の習得」「体験的な学習の充実」と回答した比率が、他の調査対象者と比べて高くなっている。

地域別(資料編 p.25参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.25～26)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で学科別の大きな差異は見られない。

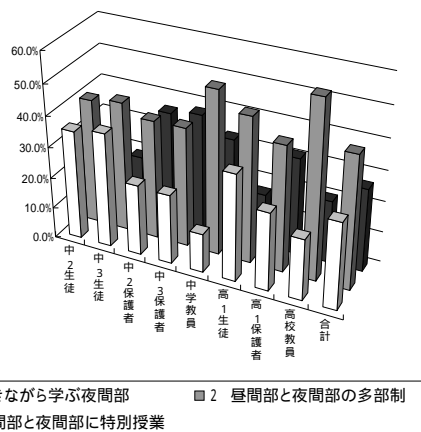
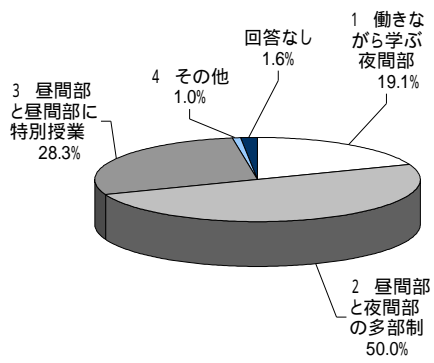
【定時制高校】

問11 中学卒業で就職する生徒が減少し、現在の定時制高校は、「働きながら学ぶ人のための学校」という役割だけではなく、さまざまな学習歴を持つ生徒の学習の場としての役割も持つようになってきています。あなたは、定時制高校の今後についてどう考えますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状どおり、働きながら学ぶ人のため、夜間部を主に考える方がよい
- 2 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部をあわせ持つ多部制がよい
- 3 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部にさらに特別授業をあわせ持つ多部制がよい
- 4 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 働きながら学ぶ夜間部	210	21.3%	276	28.1%	153	16.1%	154	16.0%	31	8.5%	195	23.1%	119	14.7%	71	16.2%	1,209	19.1%
2 昼間部と夜間部の多部制	515	52.3%	468	47.7%	437	45.9%	415	43.2%	208	57.0%	473	56.0%	384	47.4%	266	60.9%	3,166	50.0%
3 昼間部と夜間部に特別授業	236	24.0%	221	22.5%	333	34.9%	349	36.4%	123	33.7%	161	19.1%	282	34.8%	90	20.6%	1,795	28.3%
4 その他	14	1.4%	7	0.7%	12	1.3%	9	0.9%	1	0.3%	7	0.8%	5	0.6%	7	1.6%	62	1.0%
回答なし	10	1.0%	9	0.9%	18	1.9%	33	3.4%	2	0.5%	9	1.1%	20	2.5%	3	0.7%	104	1.6%
計	985		981		953		960		365		845		810		437		6,336	

定時制高校



【今回の調査結果】

定時制の今後について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が最も高く50.0%であり、以下、「昼間部と夜間部に特別授業」28.3%、「働きながら学ぶ夜間部」19.1%の順である。

調査対象者別

- ・ 保護者についてみると、「昼間部と夜間部に特別授業」と回答した比率が、中2保護者34.9%、中3保護者36.4%、高1保護者34.8%と、他の調査対象者に比べて高くなっている。
- ・ 教員についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が、中学校教員57.0%、高校教員60.9%と、他の調査対象者に比べ高くなっている。

地域別(資料編 p.27参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.27～28参照)

- ・ 「定時制」の高校生についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が58.3%、「働きながら学ぶ夜間部」25.0%、「昼間部と夜間部に特別授業」16.7%である。
- ・ 「定時制」の保護者についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が57.1%、「昼間部と夜間部に特別授業」42.9%である。

【中高一貫教育校】

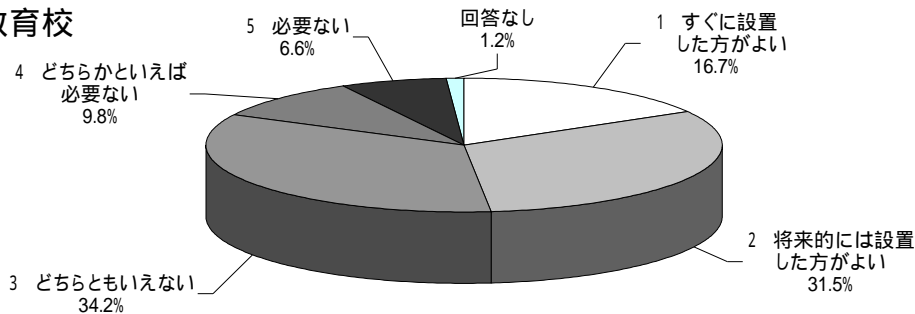
問12 中学から高校までの6年間のいわゆる中高一貫教育は「入学に際しては学力検査は行わずゆとりある教育の中で個性や創造性を伸ばす」などを目的としていますが、このような中高一貫教育校を設置することについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高1保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	245	24.9%	212	21.6%	185	19.4%	137	14.3%	31	8.5%	104	12.3%	98	12.1%	46	10.5%	1,058	16.7%
2 将来的には設置した方がよい	271	27.5%	295	30.1%	336	35.3%	375	39.1%	101	27.7%	197	23.3%	280	34.6%	143	32.7%	1,998	31.5%
3 どちらともいえない	376	38.2%	356	36.3%	292	30.6%	293	30.5%	132	36.2%	335	39.6%	287	35.4%	94	21.5%	2,165	34.2%
4 どちらかといえば必要ない	46	4.7%	59	6.0%	89	9.3%	78	8.1%	65	17.8%	108	12.8%	97	12.0%	76	17.4%	618	9.8%
5 必要ない	39	4.0%	50	5.1%	40	4.2%	53	5.5%	34	9.3%	90	10.7%	38	4.7%	76	17.4%	420	6.6%
回答なし	8	0.8%	9	0.9%	11	1.2%	24	2.5%	2	0.5%	11	1.3%	10	1.2%	2	0.5%	77	1.2%
計	985		981		953		960		365		845		810		437		6,336	

中高一貫教育校



【今回の調査結果】

中高一貫教育校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は48.2%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」16.4%、「どちらともいえない」34.2%である。

調査対象者別(資料編 p. 29～30)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は52.0%と、過半数を占めており、同様に中学保護者についてみると、調査対象者の中で最も高く54.0%である。
- ・ 高校教員についてみると、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率が調査対象者の中で最も高く、34.8%である。

地域別(資料編 p. 29参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は峡北54.8%であり、以下、峡東54.0%、峡中53.1%、北都留51.4%、南都留48.5%、峡南44.0%の順である。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、峡東56.1%、峡中55.8%、北都留55.7%、峡北54.6%、中学校教員についてみると、峡北59.0%、南都留42.1%、峡中33.5%、峡東32.3%の順である。

学科別(資料編 p. 29～30)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で学科別の大きな差異は見られない。